

令和3年度 調布市立若葉小学校 学校経営方針



Team WAKABA

令和3年4月1日
校長 生田目 将

目指す かしこく やさしく たくましく
児童像

目指す 学校像

持続可能な未来を創造する
子どもたちの育成！

- ☆子どもたちの笑顔があふれる学校
- ☆教職員が子どものために生き生きと働く学校
- ☆保護者・地域が子どもを通わせたい学校

教育目標：徳
思いやりのある子

優しい心を持ち、自分も他人も大切にできる子ども 【協働する力】
多様な人々と協働できる力
(多様性・平等性)
合わせる力(相互性)
正しい人権感覚
コミュニケーション能力
人のせいにならない
自分ごととしてとらえる

「何を学ぶのか」
「どんな方法で学ぶのか」
「どうなるのか」
「どこまでできるのか」
「どんな風になれるのか」
「どうなりたいたいのか」

わかる

「めあて」「目標」
の重視・提示・共有

教育目標：知
しっかり考え進んで学ぶ子

進んで学び、自ら表現できる子ども 【表現力】

確かな学力
何が重要か判断する力
自らから問いをたて、
よりよく解決できる力
論理的思考力
情報活用能力 (ICTの活用)
既存の価値観にとらわれず、
自分の考えを発信できる力
(ESD/SDGs)

良好な
学習集団

子ども
第一主義

子どもの
発見

「一緒に、遊ぶ・話す・喜ぶ・困る」
「学び合う」「支え合う」
「高め合う」「協力し合う」
「分かち合う」「叱咤激励し合う」

かかわる

自分の考え

↓
ペア・グループ・クラス・学年

↓
自分の考えの進化・深化・新化・新価

気づき
疑問

できる

「振り返り」の充実
発展的学習

進んであいさつするとともに、心身を鍛える子ども【健康増進力】

体力
運動の日常化
生涯スポーツの気持ち
学び続ける力
レジリエンス
挑戦する力
あいさつ

教育目標：体
明るくたくましい子

学校の主役は生徒と教職員

その人数分の命があり、命と同数の心があるすべての命と心が光り輝く場所づくりこそが本校のMission！

4月	5月	6月	7月	8・9月	10月
あいさつ 心の扉を開く・つながり	思いやり 助け合い・親切	責任 約束を守る・やりきる	良心 誠実・自律	勇気 積極性・挑戦する心 折れない心	公共 マナー・社会の一員
11月	12月	1月	2月	3月	
やりぬく力 忍耐・努力・計画	健康 体力・睡眠・栄養	感謝 お礼・尊敬・感動	希望 夢・目標	笑顔 未来・幸福	

1 はじめに

若葉小学校の教職員の皆様へ

校長 生田目 将

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策に明け暮れた年となりましたが、令和3年度も「新しい学校生活」というスタイルで、「親切丁寧」を大切に、「絆づくり」「居場所づくり」「人権感覚の醸成」「ICTのフル活用」などの充実を図り、児童への『学習の保障』を行うことが我々公教育へ携わる者としての使命です。その「保障」とは、「学力の保障」「健康・体力の保障」「活動の保障」と考えます。これまでの若葉小に関わられてきた方々の思い及び実践並びに歴史を大切に、児童が輝きながら大きく成長し、本校がさらに発展していくために、令和3年度も「TeamWAKABA」として、児童や教職員のみなさん自身が中心となって創造していく学校にしましょう。

そこで考える『目指す児童像』は【**持続可能な未来を創造する子どもたちの育成!**】です。その実現のための、学校経営の柱は、

『児童第一主義』『良好な学習集団づくり』です。

「児童第一主義」とは、児童にとって何が一番良いのかを常に模索すること。例えば「児童の疑問・気づき・発見の重視」「1対40の指導から1対1を40回の意識」「温かく甘くない」「厳しく冷たくない」「公平な関わり方」「親切丁寧」などがキーワードです。

「良好な学習集団づくり」とは、各教科で主体的・対話的に学習活動を行い、かかわりを通して自分の考えを深めていく。運動会や学芸会や諸課題へ真剣に取り組める学級・学年、委員会・クラブ活動であるなどを考えます。その集団づくりを教職員のみなさんの一人一人が携わる教育場面や得意な方法で推進してください。

そして、学級・学年・委員会・クラブ活動などすべての良好な学習集団の集まりが**若葉小**という学校になります。

「良好な学習集団では、学力が向上し、いじめ・不登校・体罰は起こらない」が私の教育理念です。

そして「子どもたちの笑顔があふれる学校」「教職員が子どものために生き生きと働く学校」「保護者・地域が子どもを通わせたい学校」をつくりましょう。

法令遵守のもと、独善的な教師の独りよがりではなく、学校の体裁を気にすることなく、「子どものために」を基準に判断できる教師、子どものためにしたいこと・子どもと一緒にしたいことが尽きない教師であってください。教師という仕事を楽しんでください。

☆絶対に心がけるサービスの厳正について

「適正な個人情報管理」「わいせつ・ハラスメントの防止」「飲酒による信用失墜行為の防止」「体罰・暴言・不適切な指導の防止」「不適切な通勤経路関係の防止」「金品の不正受給の防止」などを厳守し本校からサービス事故を出さないという覚悟が全教職員に必要不可欠です。

最後に、体罰・暴言・不適切な指導・いじめは決して許さないという強い気持ちで職務に専念し、全教職員で「体罰・暴言・不適切な指導 ZERO」「いじめ・不登校 ZERO（解消）への挑戦」を宣言します。

また、管理職は、教職員の働き方改革を推進します。

☆水曜日は「定時退勤日」にしましょう!

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調とし、生きる力を育み、心身ともに健全で国際社会においても信頼される人格の育成を目指す。さらに、変化の激しい社会にあって、児童が身に付けた力を活用し、正しく考え、判断し、行動することのできる力を育成し、知・徳・体の調和のとれた成長を図るために次の目標を定める。

『かしこく やさしく たくましく』 **持続可能な未来を創造する子どもたちの育成！**

◎ **知** **しっかり考え、進んで学ぶ子（進んで学び、自ら表現できる子ども【表現力】）**

・ **徳** **思いやりのある子（優しい心もち、自分も他人も大切にできる子ども【協働する力】）**

・ **体** **明るく たくましい子（進んであいさつするとともに、心身を鍛える子ども【健康増進力】）**

知 確かな学力 **知** 何が重要か判断する力 **知** 自らから問いをたて、よりよく解決できる力

知 論理的思考力 **知** 情報活用能力

知 既存の価値観にとらわれず、自分の考えを発信できる力（ESD/SDGs）

徳 多様な人々と協働できる力（多様性・平等性） **徳** 合わせる力（相互性）

徳 正しい人権感覚 **徳** コミュニケーション能力

体 体力 **体** 学び続ける力 **体** レジリエンス **体** 挑戦する力 **体** あいさつ

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア **しっかり考え、進んで学ぶ子【表現力】を育成するために**

「わかる・かかわる・できる」授業の実践

「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」

・各教科で必ず身に付けなければならない内容の焦点化

・学び方の多様性（ペアワーク、グループワーク、思考ツールなど）

・繰り返し学習や発展課題の充実

① 学習規律と学習に対する集中力の定着

② 基礎的・基本的な知識・技能が定着し活用

③ 主体的・対話的で深い学びの授業改善及び伝え方を整理して表現力

イ **思いやりのある子【協働する力】を育成するために**

① 豊かな心、健やかな体を基盤として調和のとれた人間性の育成

命の大切さを自覚し、自他の尊厳を重んじる人権教育の推進

いじめ・偏見・差別をしない、させない児童の育成

② 道徳科の授業改善

全教育活動を通して意図的・計画的な道徳教育の充実

③ **良好な学習集団**での活動を通して多様性の尊重・互いのよさを生かして協働する力の育成

ウ **明るく たくましい子【健康増進力】を育成するために**

① 主体的なあいさつの環境構築

② 体育、一校一取組、オリンピック・パラリンピック教育推進校等の取組の改善と充実

自主的な運動習慣・健康づくりと体力の向上を図る態度の育成

食育や保健指導等を通して健康で安全な生活を送る実践力の育成

③ 「する・見る・支える」等の多様なスポーツとの関わり方の習得

エ 学校の教育目標達成に向けたその他の事項

① 特別支援教育コーディネーターと特別支援教室専門員・スクールカウンセラーを核とした校内支援体制の充実

スクールサポーター等による個別指導の推進

特別支援巡回指導および教育相談所、すこやか、教育支援コーディネーターからの専門的な助言・支援等を効果的に活用し、児童一人一人の発達段階に応じた支援及び指導の充実

② 家庭及び地域住民・近隣の教育機関との連携及び計画的組織的な指導体制による

生活・安全指導、防災訓練の実施

③ 地域と連携し一体となり命を大切に作る安全教育を推進（セーフティ教室や地域防災訓練等）

安全・安心な学校環境の整備

食物アレルギー事故防止のために児童個々への正確な対応、教職員のシミュレーション訓練の徹底

④ 「地域学校協働本部」による教育活動への支援の促進

保護者・地域住民との繋がり強化

学校教育への支援及び地域の教育力の向上を図る。

⑤ 近隣保幼小連携の教育の充実

義務教育9年間を見通した系統性のあるキャリア教育を第四中学校と連携して実施

望ましい勤労観・職業観の育成

3 指導の重点

(1) 各教科, 道徳科, 外国語活動, 総合的な学習の時間, 特別活動

ア 各教科

- ①カリキュラム・マネジメント・教科横断的な視点・P D C A サイクル・地域の人的・物的資源の活用・週ごとの指導計画の作成・改善・計画的かつ効果的な指導
- ②書く力や話す力の育成の重視・学習規律「若葉スタンダード」
- ③体験的な学習や本物に触れる活動・課題解決能力・コミュニケーション能力の向上
- ④一人一台 i P a d や教員用タブレット等 ICT 教育機器の効果的な活用・情報活用能力及び情報モラル, プログラミング教育の推進
- ⑤学校図書館専門嘱託員の活用・図書室の学習情報センター及び読書センターとしての機能の向上・図書室を有効に活用した調べ活動の推進と情報収集能力・分析力・活用力の向上
- ⑥体力テストの実施及び結果分析・児童の運動能力を高める運動や遊びの奨励・体力の向上
- ⑦給食指導, 学級活動, 総合的な学習の時間等による食育の推進・食への理解と関心の向上・食物アレルギーに関する正しい知識・理解・心と体の健康づくりの推進

イ 道徳科

- ①育成すべき重点項目の明確化・主体的に考え, 議論する道徳科の指導の推進
- ②4, 12月に「いのちの授業」を実施・生命尊重に係る指導の充実・6, 11月の東京都「ふれあい月間」や12月の調布市「いのちと心の教育月間」でのいじめ問題にかかる指導の重点化
- ③問題解決的な学習や体験的な学習などの実施・道徳性に係る成長の様子を認め, 励ます評価

ウ 外国語活動

- ①専科教員が A E T と連携した意図的かつ計画的な授業実施・英語を中心とした言語や文化についての理解の深化・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- ② i P a d や教員用タブレット等 I C T 教育機器の活用による視覚的に理解を促進・自分の考えを発信する機会の設定による表現力の伸長

エ 総合的な学習の時間

- ①「若葉タイム全体計画」で身近な環境や地域教材を活用したり体験的な学習等を積極的に取り入れたりすることで, 問題を解決しようとする児童の主体的な学習活動や探究活動の充実
- ②地域と深く関われる本校の特色・地域の方々との関わりにより自己の生き方を考える力の育成

オ 特別活動

- ①発達段階に応じて望ましい人間関係の形成・集団の一員としての自発的・自治的な活動・学校行事への主体的に参加態度の育成・自己の役割を自覚し思いやりの精神の育成
- ②異年齢集団活動を計画的な実施しよりよい人間関係の醸成・集団のために自己を生かすことの意義や大切さの実感

(2) 特色ある教育活動

- ①「地域学校協働本部」の活性化・「サマーチャレンジわかば」「にこにこ算数教室」「自転車安全教室」等の取組・第四中学校と連携した「四つ葉学校防災協議会」など地域の教育力の活用
- ②学びの基盤づくりを家庭・地域と連携して推進(若葉スタンダードの定着・「保護者読み聞かせ」の充実・i P a d による家庭学習の習慣化・あいさつ運動への取組等)
- ③地域行事や中学校授業体験・部活動体験による小・中の連携, 近隣の保育所・幼稚園との交流会等による保・幼・小の連携の推進
- ④武者小路実篤記念館, 隣接の市立図書館との連携及び学習活用の強化・学習の成果を公開することでの学習意欲の向上(つつじヶ丘駅地下通路「とおりゃんせ」に児童の作品を展示)
- ⑤運動会, 学習発表会, 一日授業公開などの定期的な学校公開・夏祭りや地域運動会, 新春お茶会などの地域行事への参加し地域との交流を深める・地域の方々との豊かな人間関係を築き, 家庭・地域とともに発展する学校づくりの推進
- ⑥体育集会, 一校一取組等を通して体を動かす楽しさの実感・運動に親しむ機会の拡充・オリンピック・パラリンピック教育の一環としてアスリート等を招聘・スポーツとの関わりを高める
- ⑦むかし遊び・伝承遊び, 百人一首, 大和言葉の活用等, 日本の伝統・文化に触れる体験・我が国の伝統への愛情の育成・文化の担い手としての意識の向上

(3) 特別支援教育

- ①校内委員会の運営・スクールカウンセラーを活用した教育相談機能の向上・太陽の子やすこやか、教育相談所、教育支援コーディネーター等との連携・児童一人一人の発達段階や教育的ニーズに応じた教育の充実・年3回の教育相談会議、年20回程度の校内委員会の実施
- ②就学支援シートを活用するとともに、「個別指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、個に応じた指導を推進

(4) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ①「わかばっ子」の活用により基本的な生活習慣や社会生活上のきまりなど自己管理能力の育成・毎学期の振り返りを通して、家庭と連携した生活習慣の定着・「わかばっ子」の6年間一貫指導について保護者への啓発
- ②保護者・地域と協力した絆を強める「あいさつ運動」の定期的な実施
- ③安全指導・避難訓練・セーフティ教室・防災訓練等の工夫・児童の危機予測・回避能力の向上・安全な生活を送る態度と実践力の育成・インターネットや携帯電話・スマートフォン・iPad等のSNS利用に関する家庭ルールづくりの推進
- ④自他の生命を尊重する態度の育成・いじめ対策委員会を中心としていじめ問題への対策や不登校児童への支援の充実

イ 進路指導

- ①キャリア・パスポート等の活用を通じたキャリア教育の推進・発達段階に応じた望ましい勤労観・職業観の育成
- ②義務教育9年間を見通した体験的な学習や職業についての学習・夢や希望をもって将来の生き方を考える態度の育成

4 令和3年度 重点指導内容

- 1 自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の具現化及びICT活用の推進
- 3 体力向上
- 4 特別支援教育の推進
- 5 連携の推進
 - ・「地域学校協働本部」の活性化
 - ・学びの基盤づくりを家庭、地域（地域の公共施設や学習施設）と連携
 - ・地域と連携あいさつ運動への取組
 - ・小中の連携・保・幼・小の連携の推進
- 6 特色ある教育活動の推進
 - ・若葉スタンダードの定着、「保護者読み聞かせ」の充実、iPadによる家庭学習の習慣化
 - ・運動会、学習発表会、一日授業公開などの充実
 - ・体育集会、一校一取組・オリンピック・パラリンピック教育の充実
 - ・むかし遊び・伝承遊び、百人一首、大和言葉の活用等の充実
- 7 その他
 - ・開かれた教育課程&教育活動の情報発信の充実（地域運営学校：コミュニティスクールを見据えて）



WAKABA

Elementary School